

ふくし体験 ③ 車いす・アイマスク

9月30日 体験の前と、体験しながら書くページ

名前

3つのやくそく。①ふざけません。車いすは、その人の足そのものです。②だまっておしません。「動きますね」と声をかけてからおします。③気づいたら、その場でメモします。教室にもどると忘れます。

① まちたんけんで「ここ、車いすだときついかも」と思った場所

前の時間の白地図を見ながら書きます。今日、ほんとうにそうかたしかめます。

② ゲストティーチャーの方に聞きたいこと

1	
2	
3	

③ やってみて気づいたこと

4つともやってみて、その場で書きます。

車いすに のる	
車いすを おす	
アイマスクで 歩く	
手引きを する	

手引きをすると、分かることがあります。「そこ、気をつけて」では伝わりません。「右に3歩」「1メートル先につくえ」のように言います。自分のことばが、目の見える人どうしのことばだったと気づきます。

4 何センチの段差で、キャスター（前輪）はひっかかりましたか

はかってみます。場所も書きます。

5 「思っていたのとちがった」こと

やる前の予想と、やってみたあと。ちがったところが学びになります。

6 まちのどんなところを変えたら、いいと思いますか？

今日見つけた段差、通路、かいだん、案内。**どこを、どう変えるか**を、できるだけくわしく書きます。「やさしくする」ではなく、「ここにスロープをつける」のように、**形で**書きます。

7 3回の体験がつながりました。何が見えてきましたか

点字（9月2日）、手話（9月9日）、車いす・アイマスク（今日）。3つとも、おなじ問いにつながっています。その問いは何でしょうか。

8 これから、わたしたちが提案したいこと

次の時間からチームで決めていきます。今思っていることを1つ書きます。